

かけはし

氷見

KAKEHASHI

HIMI

2013
夏
Vol.16



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

| 広 | 報 | 誌 |

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ● トピックス

親子ふれあい医療フェスティバル 健康づくり教室開催



高岡市雨晴海岸からみる「女岩」

CONTENTS ● もくじ

親子ふれあい医療フェスティバル	P.01
健康づくり教室開催	P.03
森山先生の診察室から	P.04
病院★ニュース	P.05
診療コラム	P.06
病院からのお知らせ掲示板	P.07
まちかど情報	P.09

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

親子ふれあい 医療フェスティバル

夏休み



高島茂樹病院長による開会挨拶

今年で2回目となる親子ふれあい医療フェスティバルが金沢医科大学氷見市民病院で開かれ、氷見市、高岡市、小矢部市、富山市から小、中学生60名とその保護者40名の100名が医療体験に参加しました。

午前中は講演が行われ、整形外科池淵公博准教授より、こどものスポーツ障害と題して、主にスポーツで発生するケガの仕組みとその治療方法について講義が行われました。少年野球や、自身の趣味であるテニスを例に挙げて子供たち親子に親しみが持てる内容がもりこまれました。



整形外科 池淵先生による講演
『こどものスポーツ障害』



続いて総合診療科 神田享勉教授が漫画「巨人の星」の主人公星飛雄馬の姿に扮して会場に登場し、寸劇を披露すると、会場から歓声が上がりました。講演では、子供に対する愛情の示し方について、親子のコミュニケーションの大切さを解説しました。

総合診療科 神田先生による講演
『大切なものは、目にみえない?』

医療体験コース

①内視鏡体験コース
実際に医療現場で使用している内視鏡スコープを模型の中に入れ、その写り方を見てもらいました。



②縫合体験コース
傷を縫い合わせる縫合セットを使用し、針と糸で皮膚を縫い合わせる練習を体験していただきました。



③心電図体験コース
心電計を身に着けて検査を受けた



⑧くすり調剤体験コース



⑥聴診器による心音・腹音・
血圧測定体験コース



③心電図体験コース



④超音波体験コース



⑩AED体験コース



⑨放射線3D画像体験コース



⑦手洗い検査体験コース



⑤ギプス・リハビリ体験コース

り、踏み台運動を行ったあとの心電図波形や心拍数の変化を体験していただきました。

④超音波体験コース

超音波検査装置を用いて親子で心臓や肝臓、腎臓などの臓器を観察していただきました。

⑤ギプス・リハビリ体験コース

ギプスについての簡単な説明を行った後、親子でギプスを巻いたり巻かれたりする体験をしていただきました。ギプスを付けた後は、松葉づえや歩行器、車椅子を用いたりリハビリテーションを体験していただき、最後にギプスカットを行い、外したギプスをお土産に持って帰っていただきました。

⑥聴診器による心音・腹音・ 血圧測定体験コース

聴診器を用いて、お互いのお腹や胸の音を聞いてもらったり、超音波を使用して血管の流れを計測してもらったりしていただきました。

⑦手洗い検査体験コース

手に特殊な光を当てると青白く光る薬品をつけ、手洗いをしてもらい、薬品の落ち方から洗い残しを検査する体験を行っていただきました。

⑧くすり調剤体験コース

薬を袋に包んだり、軟膏を混ぜ合わせる体験を行い、薬を調剤してから患者さんへ渡すまでに薬剤師がどのような仕事を行っているかを理解していただきました。

⑨放射線3D画像体験コース

CT撮影した記録から作成された3D映像で内臓や骨などを見て、その仕組みを勉強していただきました。

⑩AED体験コース

AED機器と、人形を用いて、AEDの操作方法について説明を行った後、実際に人形の胸を押す事を体験していただきました。

参加いただいたかたからの感想

感想

金井 慧生(かない さとき)君(宮田小学校3年生)は、「去年も参加して、内視鏡を使った胃の検査を体験しました。僕はこの体験で将来はお医者さんになりたいと思いました。」と決意を語っていただきました。



金井 慧生 君

健康づくり教室

開講

平成25年5月25日(土)午後2時から病院6階多目的ホールで金沢医科大学氷見市民病院「健康づくり教室」が開講されました。毎月1回 原則第3土曜日に、一般市民の皆さんを対象に、病気の診断とその治療や予防について解りやすく解説し、健康回復や増進に役立てていただくために開講し、90名の申込みがありました。今年度は11月までに計6回の開催を予定しております。



開講にあたって 高島茂樹病院長の挨拶

初めに、本講義の開講について、高島茂樹病院長より挨拶があり、その後、第1回目講義として当院の健康管理センターのセンター長である松木伸夫教授から「がん検診と人間ドック」と題して講義が行われました。氷見市の平均寿命や、主な死因について説明があ

り、健康のために健診を受診することを勧められました。特に、内視鏡による大腸の検査や、CTによる肺の検査の必要性が強調され、住民健診にCT検査を導入することを求めています。講義されました。

講義には、約70名の市民の方々が出席され、時折メモを取るなど熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

第2回 生活習慣病



泉先生の講義「生活習慣病」について

第1回 がん検診と人間ドック



松木先生の講義「がん検診と人間ドック」肺がん検診の説明



神田先生の講義「物忘れと認知症」について

第3回 物忘れと認知症について

第2回目は生活習慣病についてと題して、当院の副院長である循環器内科 泉洋一教授から、主に食生活と肥満や糖尿病との関係について講義が行われました。中国・新疆ウイグル自治区で自身が取り組んだ研究を交えながら、長寿と食生活の関係について説明を行いました。

第3回目は物忘れと認知症と題して、当院の院長補佐、総合診療科 神田享勉教授が水戸黄門に扮して登場し、認知症の特徴や発症の仕組みなどについて講義を行いました。認知症の介護には家族の負担が大きいため、特徴的な事例に関する対処方法の例が紹介されました。

講演終了後は、氷見市健康課の職員の方より、氷見市民健康大学の紹介が行われ、健康診査の受診、健康づくりの目標の設定、健康づくりイベントの参加等に取り組みと抽選で素敵な記念品がもらえることが説明されました。

健康づくり教室

今後の開催日について
受講者募集

◆開催日・講演内容・講師

9月21日(土)

「腰痛の予防と治療について」
整形外科の病氣について」

整形外科 准教授 池淵公博

10月19日(土)

「加齢と泌尿器の病氣について」

泌尿器科 教授 森山学

11月16日(土)

「胃がん・大腸がんについて」

病院長 一般消化器外科 教授 高島茂樹

◆時間 午後2時～3時30分
(受付：午後1時30分)

◆場所 金沢医科大学氷見市民病院
6階多目的ホール

◆問合せ 総務課

☎0766741900
(内線2022)

※事前予約や参加費は不要です。

泌尿器科常勤医師 教授 ▼ 森山 学

MANABU MORIYAMA

森山先生の
診察室から



平 成25年4月までは週に3回、半日の外来非常勤で診療してきま

したが5月から常勤診療体制となりました。ご承知のように泌尿器科では内科的診療と外科的診療の両面を持ち合わせており、これまで非常勤であったため外来で対応可能な診療に限局されてきました。常勤勤務となり入院管理が可能となったため入院の必要な専門的検査や外科的加療など幅の広い診療・治療戦略を組み入れる事が可能となりました。

外来検査機器は最新の機種に更新いただき、診断のスピードや精度がさらに向上しました。中でも超音波検査装置は通常の超音波検査システムに加えて大陸で唯一、弾性度まで画像で表示できる機能を持ち、本邦でも罹患患者数が増加している前立腺癌診断の一助となっています。また尿路内視鏡システムも従来用いられていた侵襲性の高い硬性鏡と異なり軟性電子内視鏡を導入した事により患者様に優しく、鮮明な画像で詳細な情報を得る事ができる上に、画像データもデジタル保存可能なため劣化する事なく必要であれば診療情報として他施設へいつでも鮮明な画像での情報提供が可能となりました。泌尿器科に特化した検

査として排尿障害の方に実施する、尿流量動態検査・膀胱括約筋筋電図ならびに膀胱機能検査機器もコンピューター制御による診断精度の高い機種を選定し通常の排尿障害患者様から脊椎損傷などの基礎疾患を有して繊細な鑑別が必要な患者様、また小さなお子様方や障害を持たれた患者様に必要最小限の検査を選択し診断する事が可能となりました。

外科系診療科である当科にとって主軸である手術治療も幅広く当院で対応させていただく事が可能となりました。外来検査機器と同様手術機材も最新のラインナップを揃えています。中でも前立腺肥大症に対してこれまで行われていた経尿道的前立腺切除術に加えて当施設に導入した新しい機器では切除だけではなく剝離治療も同時に行うことが可能であり、従来より出血が少なく短時間での治療完遂が可能となりました。また、尿路結石症の治療においては従来から行われてきた対外衝撃波尿路結石破砕術（SWL）では破砕するだけで破砕片が体外に排石されるまで痛みがあったり時間がかかったり、また破砕片の大きさ等から繰り返し衝撃波治療の必要性が生じる事もあるため、最近の軟性尿管



- 森山 学 ★ 経歴
- ◎ 平成 3年 3月 金沢医科大学医学部 卒業
 - ◎ 平成 7年 3月 金沢医科大学大学院 卒業
 - ◎ 平成 8年 4月 泌尿器科専門医
 - ◎ 平成13年 4月 泌尿器科指導医
 - ◎ 平成17年 8月10日 臨床研修指導医
 - ◎ 平成21年 1月28日 腎移植認定医
 - ◎ 平成24年 8月 1日 移植認定医

鏡や尿管鏡用の破砕装置の進歩に伴い、結石症治療の選択肢は大きく変化しつつあります。当院でも高出力のホルミウムレーザーを装備した事により尿路結石症に対して細径軟性尿管鏡を用いてLASERを照射し結石を破砕した後、抽出する経尿道的尿管結石砕石術（FTUL）治療によりSWLに変わる治療選択肢に対応する事が可能となりました。常勤の体勢となりまだ数ヶ月ですが、今後さらに患者様や連携施設の先生方からのご意見を伺いながら地域中核病院の診療科の一つとして安全で質の高い医療が提供できるように、診療システム構築や機器の充実に努めて行きたいと考えています。

職員接遇研修会

平成25年7月30日(火)午後5時30分から当院6階多目的ホールにおいて、平成25年度第1回職員接遇研修会が開催されました。講師は元アナウンサーで事務所 経田代表の経田博子(きょうでんひろこ)先生をお招きし、「より良い職員を目指して」と題し講演して頂きました。全職員を対象に医師、看護師等180名が受講しました。

講演では、「人は関わりあつて生きていく」「相手と自分は違う人間。違う人同士と一緒にいるからいろいろ見えてきて、成長することができる。」等、人との関わり方について、自分の考え方を思いで相手への伝わり方が違ってくること等、実践も含めながら分かりやすい内容でお話されました。参加した職員からは「相手の気持ちを考えながら話しかけられやすい環境を作りたい。」等の感想が聞かれました。今後、このような接遇に関する研修を行うサービス向上に努めたいと思います。



医療安全研修会の開催

平成25年6月4日(火)、当院6階多目的ホールにおいて今年度第1回目の医療安全研修会が行われました。新入職員をはじめ多くの職員が参加しました。

今回は「医療安全体制と医療事故防止のためのマニュアルについて」と題して医療安全管理者から講演があり、参加者は医療事故発生時の対応や院内にあるマニュアルについて学びました。また、インシデントレポートの目的と入力方法や報告ルート、リスクマネージャーの配置、安全のための医療者の心得についても再確認しました。

「いつでも誰でも安心してかかる病院」をモットーに安全・安心な医療現場を皆さんの手で創りましょう!という言葉で締めくくられました。



14歳の挑戦

市内の中学校の学生が14歳の挑戦として、普段見ることのない医療の現場を見学しました。患者体験では、車椅子を実際に使ってみると自分で操作する事は難しく、乗ったままでは開けにくい扉の前に「健康であること」の大切さを改めて実感している様子でした。また、病院では患者さんが利用しやすいように色々な職種の人が多く役割をもって働いている事に感心していました。患者さんとのコミュニケーションの中で「お医者さんや看護師さん、薬剤師さん、リハビリの先生、病院には働いている人が大



互助会行事として

地引網・バーベキュー大会

7月14日(日)午前9時30分から氷見市島尾海水浴場において、職員やその家族大人67名、小人27名の総勢94名が参加して開催されました。当日は、早朝から雷雨にみまわれ開催が懸念されましたが、天候も持ち直し「宝物さがしゲーム」、「スイカ割大会」、「地引網」、「バーベキュー」が行われ、職員同士の親睦を深める絶好の機会となりました。

勢おられますが、皆私達患者のために一生懸命になってお仕事をしてくださっています。人のお世話をするってとっても大変なこと。でも、それがあから私たちは元気に退院出来るのですよ。」という言葉に医療現場での仕事の深さを実感している様子でした。この貴重な経験を生かし、参加された生徒さんが飛躍されることをスタッフ一同祈願いたします。



「スイカ割大会」、「地引網」、「バーベキュー」が行われ、職員同士の親睦を深める絶好の機会となりました。

金沢医科大学氷見市民病院の看護部へようこそ。「私たちは、一人ひとりが患者に対する尊敬の念を抱き、心のこもった看護サービスを提供する事により地域に信頼される看護をめざします。」を看護部理念とし、「お互いに学び合える職場環境の中で良い病院イメージを発信する看護を提供する」「看護の心の柔らかさ、たくましさで自らが考え行動する」を柱とし、医療チームの中で看護の役割を最大限發揮できる看護師の育成に取り組み、安全で安心な看護ケアを基本に常に患者さんの立場に立ち、人にやさしく信頼される看護を提供できるよう「笑顔と思いやり」と「やさしさ」をモットーに質の高い看護の提供に取り組んでいます。

患者さんとの出会い



「二期一会」と言つ言葉があるように看護師をしていると、色々な患者さんに出会う機会が多くあります。私たちは、すべての患者さんに「ホスピタリティー精神(おもてなしのこころ)」を

もって関わらせていただいています。看護師は、患者さんを助けているように見えるのですが、実は患者さんから教えて頂いている事、助けて頂いている事が本当にたくさんあります。患者さんから聞かせて頂く貴重な体験は、人生においてとても役立つ事があります。そして、なにより私達の活動源は患者さんの「ありがとう」のお言葉や、「笑顔」、そしてなにより、日々の看護の中で「患者さんが回復していかれる姿」なのです。

命の尊さ



看護師は、生命の誕生から、誰しもがやがて訪れる死に関わる貴重な職業です。生命の誕生をみて命の奇跡を実感します。そして、「死」と向き合う時に、命の大切さ、悔いなく生きることを学びます。不思議とこの職業をしていると、生きる意欲が湧いてくる。命のある限り人が「生きる」ために自分の持つ専門的知識をもって「生命を維持するお手伝いをする。それが看護師です。」

共に育つ



看護師になっても理想と現実の違いに、離職してしまう看護師は多いのです。しかし、「できない」を責めるのではなく「できるように」を考えるのがこの病院の教育です。先輩が後輩を教えるだけではなく、後輩に対する教育を通して自分自身の看護を振り返り、自分の「看護観」を磨いていく。そして、何より大切なのがお互いに刺激をし合う事で患者さんに良い看護が提供できるようになること。私達は、「共育環境」を通して患者さんに「質の高い看護」を提供できるように日々努めています。

りんごステーションを発足して



りんごステーションは当病院に勤務する20代の若手看護師のサークルで20代看護師が離職しないように、活動を通して1人1人が「やりがいのある仕事」を見出せるよう、また氷見市の

医療を担う、医療スタッフの育成を図ることを目的としたサークルです。数年前までは、20代の看護師が19名しかいなかった当病院ですが、今は

このりんごステーションのおかげで50名以上に若手看護師が増えました。活動内容は、同年代の看護師のコミュニケーションを活発にし、職場に対する悩みを相談したり、レクリエーションなどを通して、ストレスの発散を図っています。「看護の楽しさ」を多くの人に知ってもらいたい、感じてもらいたいその「願い」がりんごステーションの活動を支えているのです。



病院からのお知らせ掲示板

● 選択メニュー開始について

6月より選択メニューを開始しました。月曜日に栄養士が対象の方に聞き取りに伺いますので、お好みの主菜を選んでください。

対象

常食を召し上がっている入院患者さん

実施日

毎週水・木・金曜日の朝食・昼食

(※お盆、年末年始、ゴールデンウィーク等祝日のある週は除きます。)

アレルギーをお持ちの方や月曜日以降に入院された方は選べないのでご了承ください。

選択メニューを実施することで食事を楽しみにして下さる方がもつと増え、より満足していただけるように努力していきたいと思えます。食事に関するご意見やご感想など聞かせていただけると幸いです。

◎ 選択メニュー例



● 夜間受付業務のお知らせ

当院救急外来入口(左下図)の防災センターでは次の業務を行っております。

- ◎ 入院患者さんのご案内
- ◎ 診療時間外の診療費の支払い
- ◎ 拾得物の問合せ

● 禁煙のお願い

最近面会や救急外来に付き添いでこられた方々による院外での喫煙が見受けられます。当院は敷地内及びその周辺を禁煙としておりますので、禁煙にご協力願います。



NO SMOKING
敷地内
全面禁煙



● インシュリン自己注射を されている患者さんへ

使用済み針で他の人が針刺しをする恐れがありますので、インシュリン注射針・自己血糖測定用穿刺針を返却される時は以下の事をお願いします。

- ◎ ふた付の金属缶(針が突き通らない材質(ヘットボトル不可))に廃棄する。(ガラス瓶は割れる可能性があります)ので使用不可)
- ◎ 持ち込まれる場合は1階採血室まで(午前8時半から午後5時まで)

● 駐車場工事のご案内

左記斜線の区域で工事が行われております。駐車場が狭くなりご迷惑をおかけしておりますが、工事は平成25年11月末完了予定です。ご協力お願いします。



● クッキング教室の開催について(ご案内)

要予約

日時
平成25年10月5日(土)
10時～13時

場所
創作工房ひみ
(氷見市北大町25-4)

内容
減塩ヘルシー
クッキング教室

講師
金沢医科大学氷見市民病院 助教
内分泌代謝科 渥美 久登先生

参加費 840円 ※事前にお申込み下さい。

持ち物
エプロン、バンダナ(三角巾)、タオル

申込先
金沢医科大学氷見市民病院
地域医療連携部 石田
☎0766741900(内線1030)



● 腎不全患者
家族研修会開催

当院では、毎年当院で透析治療を受けておられる患者さんを対象に研修会を開催しております。患者さんとそのご家族との交流を深めることにより腎不全治療への理解を深めていただき、「家族参加型」の治療を目指しております。今年度も左記の日程で開催予定となっております。

日時
平成25年10月13日(日)
10時～12時30分(9時30分受付開始)

場所
金沢医科大学
氷見市民病院
6階多目的ホール

参加費
参加費無料です。
※事前にお申込み下さい。

申込先
金沢医科大学氷見市民病院
血液浄化センター
☎0766741900
(内線2200)



● 第5回 広げよう
ブルーサークルの輪 in ひみ
健康講座

日時
平成25年11月9日(土)
14時～16時
(変更の場合有)

場所
いきいき元気館
3Fホール

内容
健康講座①
金沢医科大学氷見市民病院
内分泌・代謝科 伊藤智彦先生による講演

◆健康講座② **コントDE健康公演**
南砺市の医療職員からなるボランティアグループの「コントDE健康」が、糖尿病や認知症、脳卒中等をテーマに取り上げ、予防法や病気にかけた時の家族への影響などを分かりやすくコントで伝えます。

参加費 無料です。

問合せ先
金沢医科大学氷見市民病院
糖尿病委員会 担当：石田
☎0766741900(内線1030)



病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに務めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平にうけることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意志で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報は厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して充分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないよう配慮ください。



祇園祭
祇園祭が7月13日、14日に行われ、曳き山が氷見市内を練り回りました。祭りのハッピを着た男性が曳き山に人形を乗せ、町内の子供たちを交えて中心商店街を練り歩きました。祭りには多くの露店も出され、大勢の観客が華やかな曳き山を見物に訪れていました。



エコロジー ガーデン ecology garden

当病院では、院内緑化をすすめ、来院された患者さんやご家族の方々に安らいだ環境を提供できるよう努力しております。この院内緑化は、下記のスポンサー企業の協賛のもとに維持運営を行っております。



- (有)アカシア商会 ● サカキ産業株式会社 ● 株式会社ダスキンヘルスケア北陸
- たんぽぽ薬局 氷見店 ● 株式会社つばめ交通タクシー ● ニッショク株式会社 ● 日本海綿業株式会社 ● 株式会社日本空調北陸 ● 株式会社ビー・エム・エル ● 氷見伏木信用金庫 ● ファーマライズ株式会社 ● 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 ● 北陸総合警備保障株式会社 高岡支社 ● ホテル日航金沢 ● 株式会社山下設計 ● 米沢電気工事株式会社 ● 菱機工業株式会社 ● 株式会社ワールドシンコー

編集後記

表紙写真は周囲の小さな岩が母親とたくさんの子供のように見えることから「女岩」と呼ばれています。雨晴海岸から氷見の海岸を背景に撮影しています。このように氷見市は、美しい海や山が広がる観光の街です。この街に住む多くの人々に病院のことを知っていただくため、この夏さまざまな行事を開催しました。これらの行事を通して金沢医科大学氷見病院をご理解いただければと考えます。

金沢医科大学氷見市民病院 病院企画課 かけし夏号編集委員 宮井 公一

■広報誌「かけし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。

